



集中豪雨に備えよう

7月に西日本で発生した集中豪雨では、死者が200人以上にのぼり平成最大の豪雨被害となりました。

この豪雨では、河川氾濫や堤防の決壊、道路や家屋の浸水・冠水など急激な水位上昇により垂直避難（1階から2階などへ避難すること）がやっとなという状況で、家屋に取り残された方が大勢いました。

どのような災害でも、早い段階での迅速な避難が重要となります。

❖集中豪雨とは？

積乱雲が同じ場所で発生・発達を繰り返すことで起きます。狭い範囲で100mm以上の非常に激しい雨が数時間も降り続きます。

❖どのような時に発生するの？

- ・日本付近に前線が停滞しているとき（特に梅雨末期）
- ・台風が接近・上陸しているとき
- ・大気が不安定で次々と積乱雲が発生しているとき

❖どのような災害が起きるの？

- ・河川の増水、氾濫
- ・家屋の浸水、道路の冠水
- ・土砂崩れやがけ崩れ
- ・地下街や地下室水が流れ込む

❖身を守るために

西日本豪雨で大きな被災地となった岡山県倉敷市真備町では、今回とほぼ同じ浸水域を示す洪水ハザードマップがありました。本市でもハザードマップを各家庭に配布しています。日頃から防災意識を高め、情報に耳を傾け、早めの行動を心がけましょう。

❖備える

- ・避難場所、避難経路の確認
- ・非常持ち出し品の確認

❖情報を知る

- ・最新の気象情報をチェック
- ・ハザードマップの確認
- ・大雨警報、洪水警報が発表されたら避難準備

❖早めの判断

- ・危険が迫る前に早めの避難（浸水の中の避難は非常に危険）
- ・状況により無理に避難するよりも、2階など高いところにとどまる垂直避難の方が安全な場合もある

街をまもる 安全をまもる

消防団員募集中！

❖消防団員とは？

消防職員は常勤職員として業務に専念するのに対し、消防団員は特別職の公務員として各自の職業に就きながら災害時などに活動します。

❖入団するには？

資格：年齢18歳以上で本市に住居または勤務している方。（男女問わず）

報酬：年間一定額の団員報酬のほか、災害出動等の手当が支給されます。また、5年以上在籍された方は、退団の際に退職報償金も支給されます。

公務災害補償制度：消防団活動中のケガ等に対して公務災害補償制度があります。

消防団福祉共済制度：公務を問わず、ケガ・疾病により一定期間入院した場合の入院見舞金や、死亡・重度障害の状態になった場合の一時救済金の支給などがあります。

表彰制度：団員としての功績に対して、様々な表彰制度があります。

機能別消防団：消防団員・消防職員のOBの方が入団し災害活動のみ従事します。

入団を希望される方、詳しく知りたい方は

消防本部総務課地域消防G ☎53-1152まで

救急要請は119番通報へ！！

救急要請を119番通報ではなく、当本部の代表番号に掛ける事例が多い傾向になっています。現在、119番通報は水戸市内原町にある茨城消防指令センターが一括で受け、救急車や消防車を出動させる指令も管理しています。

救急要請の電話を当本部の代表番号に掛けてしまうと、救急車等の出動が遅れてしまう可能性があります。

救急要請する場合は、
当本部の代表番号でなく、**直接119番通報**をお願いします。



9月1日は防災の日

9月1日は、関東大震災が発生した日であり、地震や風水害等に対する心構え等を育成するために創設されました。また、昭和57年からは、9月1日の防災の日を含む一週間を防災週間と定め、各関係機関が緊密な協力関係のもとに、防災思想普及のための行事や訓練を行っています。

子どもに教えるには？

年齢の小さな子どもには、保育園や幼稚園での避難訓練だけでは理解が難しいかもしれません。保護者が分かりやすく伝えてあげることが大切です。「お・か・し・も（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）」の言葉のほかに、防災や避難訓練の重要性を訴えた絵本を使用して読み聞かせることもひとつの方法です。

また、実際に子どもと避難ルートを歩くなど危険個所を確認して、日頃から災害に備えておくことの重要性を教えましょう。



災害時に使える各SNSのメリット

ライフライン確保と同時に、様々な手段を使って最新情報を入手することが大切です。

Twitter（ツイッター）

情報の拡散力が一番の特徴であり、首相官邸、総務省消防庁アカウント（災害に関する情報や報道資料等を提供）や自治体独自のアカウントもあります。本市のアカウントは「hitachiomiya_」です。

Facebook（フェイスブック）

タイムラインなど見やすい写真付きで友人の近況を知ることができます。また、非常時のみ災害用伝言板が置かれ生存報告もできます。海外の人と繋がりがやすいことが特徴です。本市のアカウントは「@city.hitachiomiya」です。

LINE（ライン）

強い拡散力はありませんが、連絡を取りたい人とスピーディーなやり取りが可能です。既読という表示があるだけで生存確認ができ、スタンプ一つで相手に気持ちを伝えることができるのが特徴です。

●●●備える防災用品●●●

電気や道路などのライフラインが途絶えたとき、復旧するのに要する期間は3日間といわれています。そのため最低限3日分の防災非常食や水を備蓄しておく必要があります。

□非常食

保存期間が2～5年と長く火を通さなくても食べられるもの。缶入りパン、栄養補助食品、クラッカー、ビスケット、レトルト食品、アルファ米など

□飲料水

1人1日3ℓが目安。家族3人の場合、3人×3ℓ×3日分→2ℓペットボトルを12～18本。

□医療品

三角巾、包帯、ガーゼ、脱脂綿、絆創膏、はさみ、ピンセット、消毒薬、常備薬、持病の薬など。

□衣料

重ね着の出来る衣類、防寒具、毛布、下着類、靴下、軍手、雨具など。

□生活用品

寝袋、タオル、生理用品、筆記用具、ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニール袋、食器類、ライト、携帯トイレ、ラジオなど。

□貴重品

現金、身分証明書、預貯金通帳、印鑑、各種カード、保険証など。

□役に立つもの

布粘着テープ、ラップ、梱包用ひも、風呂敷、ダンボールなど。

※近年では多様な防災セットが販売されていますので、複数購入して備えておくのもひとつの方法です。

